

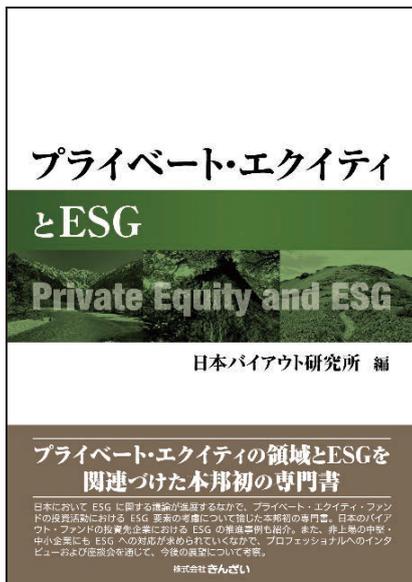
# 待望の新刊

## 『プライベート・エクイティと ESG』

### 本書の特徴

日本において ESG に関する議論が進展するなかで、プライベート・エクイティ・ファンドの投資活動における ESG 要素の考慮について論じた本邦初の専門書。日本のバイアウト・ファンドの投資先企業における ESG の推進事例も紹介。また、非上場の中堅・中小企業にも ESG への対応が求められていくなかで、プロフェッショナルへのインタビューおよび座談会を通じて、今後の展望について考察。そして、巻末には、プライベート・エクイティ・ファンドの投資活動で直面する ESG 関連の専門用語の解説に加え、プライベート・エクイティに関する用語に ESG の視点を加えて説明を行った「ESG・PE 用語集」を収録。

プライベート・エクイティ・ファームにおいて投資活動に従事するプロフェッショナル、プライベート・エクイティ・ファンドへの投資を行う機関投資家やゲートキーパー、M&A 案件およびバイアウト案件のサポートを行う M&A アドバイザーや弁護士、LBO ファイナンスを拠出する金融機関の方々に待望の専門書。また、事業会社において CSR・ESG・サステナビリティなどの実務に従事されている方々や、アセット・マネジメント会社の ESG・サステナビリティ担当者、ESG コンサルタントの方々にもお薦めの書。



## プライベート・エクイティと ESG

日本バイアウト研究所／編

刊行日：2021 年 12 月下旬刊行予定  
仕様：A5 判・約 350 頁・上製  
定価：3,960 円（税込）  
発行所：きんざい

### 主な読者層

- ・金融機関（大手銀行、信託銀行、地方銀行、信用金庫、証券会社、保険会社、ノンバンク）の LP 投資担当者、LBO ファイナンス担当者、審査担当者、ESG・サステナビリティ担当者、総合企画担当者
- ・機関投資家、アセット・マネジメント会社の ESG・サステナビリティ担当者
- ・年金基金（企業年金基金、公的年金基金）
- ・プライベート・エクイティ・ファーム（バイアウト、ベンチャー、グロース、メザニン、ファンド・オブ・ファンズ、セカンダリー、その他）
- ・M&A アドバイザー・ファーム
- ・ESG コンサルタント
- ・格付機関
- ・弁護士、会計士、税理士
- ・事業会社の CSR・ESG・サステナビリティ担当者、経営企画・M&A 担当者、財務担当者、法務担当者
- ・プロフェッショナル経営者、プロフェッショナル CFO

### 主要目次

- 第 I 部 プライベート・エクイティ領域における ESG の潮流と実務
- 第 II 部 バイアウト・ファンドの投資先企業における ESG の推進事例
- 第 III 部 課題と将来展望

巻末には、受託者責任、エンゲージメント、ESG インテグレーション、環境デューデリジェンス、サプライチェーン、DEI (diversity, equity and inclusion)、ネガティブ・スクリーニング、ESG マージン・ラチェットなど、プライベート・エクイティ・ファンドの投資活動で直面する ESG 関連の専門用語の解説に加え、プライベート・エクイティに関する用語に ESG の視点を加えて説明を行った「ESG・PE 用語集」を収録。

# 『プライベート・エクイティと ESG』目次

## 第Ⅰ部 プライベート・エクイティ領域における ESG の潮流と実務

第1章 ESGの潮流とプライベート・エクイティ領域における二つの視点 ～ジェネラル・パートナーとリミテッド・パートナーとの協働に向けて～  
(執筆者: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一)

第2章 海外のプライベート・エクイティ領域における ESG の潮流 ～日本でのベストプラクティスの実践のために～  
(執筆者: キャピタル・ダイナミクス株式会社 プリンシパル 寺竹成史)

第3章 バイアウト・ファンドへの投資における ESG ～ゲートキーパーの視点からの考察～  
(執筆者: エー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長 GIO 佐村礼二郎)  
(執筆者: エー・アイ・キャピタル株式会社 執行役員副社長 國分基弘)

第4章 中堅・中小企業の事業承継案件における ESG の視点 ～社会性と問題解決へのアプローチ方法～  
(執筆者: MCP アセット・マネジメント株式会社 プライベートエクイティ投資運用部 マネージング・ディレクター 小林和成)

第5章 プライベート・エクイティの周辺領域の ESG ～海外マネジャーの動向とゲートキーパーとしての取り組み～  
(執筆者: アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社 プライベート投資部長 齋藤大彰)

第6章 バイアウト投資における ESG デューデリジェンスとサステナブル経営 ～日本の中堅・中小企業の持続可能な成長を目指して～  
(執筆者: 株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 眞野薫)  
(執筆者: 株式会社 KPMG FAS 執行役員パートナー 吉野恭平)

第7章 プライベート・エクイティ領域における ESG の法務の視点 ～受託者責任とバイアウト投資に関連する論点を中心に～  
(執筆者: 長島・大野・常松法律事務所 弁護士 清水啓子)  
(執筆者: 長島・大野・常松法律事務所 弁護士 服部紘実)

## 第Ⅱ部 バイアウト・ファンドの投資先企業における ESG の推進事例

第8章 投資先企業のサステナビリティ経営を実現するバイアウト・ファンドの取り組み ～コスモライフとキューサイの事例～  
(執筆者: 株式会社アドバンテッジパートナーズ パートナー 東原俊哉)  
(執筆者: 株式会社アドバンテッジパートナーズ パートナー 早川裕)  
(執筆者: 株式会社アドバンテッジパートナーズ プリンシパル 平川努)

第9章 ESG 推進による企業の持続可能性と価値向上に向けた取り組み ～フェニックスインターナショナルとマルホンの事例～  
(執筆者: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 パートナー 加藤拓)  
(執筆者: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 プリンシパル 岩田周子)  
(執筆者: Ant Global Partners (HK) Limited 代表取締役兼マネージングパートナー John H. M. Cheuck)

## 第Ⅲ部 課題と将来展望

補論 日本のバイアウト市場の深化 ～ESG 投資と ESG 融資の両輪に向けて～  
(執筆者: 株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一)

### 《インタビュー①》

日本における非上場の中堅・中小企業の ESG へのアプローチ ～事業特性を考慮した取り組み～  
(インタビュー先: CLSA キャピタルパートナーズジャパン株式会社 エグゼクティブディレクター 桑木翔太氏)

### 《インタビュー②》

日本のバイアウト・ファンドの投資先企業における ESG 経営の論点 ～レスポンシブル・エグジットを意識した一体的な取り組みの推進～  
(インタビュー先: 有限責任あずさ監査法人 ディレクター 土屋大輔氏)

### 《インタビュー③》

海外のプライベート・エクイティ・ファンドの ESG の取り組みから学ぶ ～ゲートキーパーの立場からの日本への示唆～  
(インタビュー先: アーク東短オルタナティブ株式会社 代表取締役社長 古屋武人氏)

### 《インタビュー④》

日本における ESG プロフェッショナル人材の現状と将来展望 ～ジョブディスクリプションの明確化を前提とした人材の流動化に向けて～  
(インタビュー先: アンテロープキャリアコンサルティング株式会社 取締役 山本恵亮氏)

### 《座談会》

日本のバイアウト・ファンドによる ESG への取り組みの現状と展望 ～バリューアップへの貢献とさらなる発展を目指して～  
(討論者: 株式会社アドバンテッジパートナーズ 代表取締役 シニア パートナー 喜多慎一郎氏)  
(討論者: アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 代表取締役社長 飯沼良介氏)  
(討論者: インテグラル株式会社 パートナー 二井矢聡子氏)  
(司会者: エー・アイ・キャピタル株式会社 マネージング・ディレクター 野津慎次氏)

## ESG・PE用語集

巻末には、受託者責任、エンゲージメント、ESG インテグレーション、環境デューデリジェンス、サプライチェーン、DEI (diversity, equity and inclusion)、ネガティブ・スクリーニング、ESG マージン・ラチェットなど、プライベート・エクイティ・ファンドの投資活動で直面する ESG 関連の専門用語の解説に加え、プライベート・エクイティに関する用語に ESG の視点を加えて説明を行った「ESG・PE用語集」を収録。